

会社の倉庫に保管している防災備蓄品を有効活用しませんか？



企業向け 防災備蓄品リユースサービス

Stock Links

有効活用

「もったいない」から「ありがとう」へ。

世界中で7億人以上が貧困に苦しむ一方で、日本の食品ロスは年間600万トン以上。それ以外に、企業などで備蓄していた、大量の非常食があります。「防災備蓄品リユースサービス」は、本来廃棄するはずだった備蓄食料品と、食料を必要としている人をつなぐ新しい仕組み。食品ロスの削減と社会福祉へ寄与することで、SDGsの取り組みをサポートします。



こんなことで困っていませんか？

賞味期限が近づいた防災備蓄品を廃棄するのがもったいない！



手間がかかる！



廃棄ではなく備蓄品をリユースし、CSR活動を推進。

防災備蓄品を廃棄ではなく寄付し、再活用することは、企業の社会的責任を果たすことにつながります。防災備蓄品リユースサービスでは、フードバンク*を通じて企業と寄付を求める団体をマッチングさせ、CSR活動を支援。どのような団体に寄贈されたかを報告する、活動報告書もご用意しています。

防災備蓄品 リユースサービス

回収・寄付から
購入まで、
まるごと
サポート



所有する防災備蓄品の回収から、寄付先団体のマッチング、
新たな備蓄品の購入、賞味期限の管理までトータルにサポート。
無駄な手間やコストをかけずに、安心の防災対策を講じ、CSR活動につなげていきます。

STEP
1



期限が近づいた防災備蓄品の回収

期限が切迫した防災備蓄品を回収し、廃棄の手間を削減します。

※賞味期限の迫った防災備蓄品を無償で回収しますが、譲渡時に係る運搬費を負担いただきます。内容確認の上、見積りを提示します。

※回収できる賞味期限の目安：残り約3か月（回収時）

残り賞味期限が6か月前よりご相談いただくことをおすすめします。

※譲渡いただくにあたり、覚書の取り交わしをさせていただきます。

STEP
2



防災備蓄品の寄付

回収した防災備蓄品はフードバンクを通じて、こども食堂や生活困窮者の支援、大学内学生食堂にて学生支援に役立ってます。

備蓄品の寄付先などを記した活動内容報告書を提出します。



活動報告書



社会福祉協議会



子ども食堂

STEP
3

防災備蓄品の購入

お客様のニーズに合わせた入替用
防災備蓄品のご提案、
販売をします。



STEP
4

賞味期限通知

当社でご購入いただいた防災備蓄
品の賞味期限が近づいてきたら、
ご連絡します。



竹田印刷



御社